

平成28年度 農地中間管理事業 工程表

		4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月			4月		
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
■農地マネジメントチーム (MT)の現場活動		<p>市町村農地マネジメントチーム会議 (定期的に開催 情報の共有と課題解決、農地所有者および担い手へのアプローチ)</p> <p>農地利用適正化推進員との連携 (受け手・出し手情報および地域の農業事情の情報共有、効果的なマッチング)</p>																																						
■重点実施区域		<p>重点実施区域 30地区 102ha集積</p> <p>地元リーダーとの話し合い → 地元での話し合い (地図を活用した話し合い) → マッチング手続き、農用地利用集積計画、農用地利用配分計画の認可申請 → 認可</p>																																						
■効果的な広報活動		<p>新パンフ等作成 → パンフ配布 (機構・市町村・振興事務所→所有者 現地活動時に機構職員自ら手持ちパンフを配布)</p> <p>県広報誌での掲載</p> <p>各市町村・農業委員会、土地改良区等の広報誌での掲載</p> <p>各種イベント等でのPR</p> <p>新聞広告、折込チラシ</p> <p>随時更新 (制度周知、借受公募、貸付申込、認可公告、事業進捗状況など)</p> <p>JA機関誌への掲載</p> <p>事業実施農地での看板設置による事業PR</p> <p>マスコミへの情報提供</p> <p>マスコミへの情報提供</p> <p>マスコミへの情報提供</p>																																						
■受け手の掘り起こし		<p>借受希望者の公募 → 借受公募 (通年 H29.3.31まで) → 公表</p> <p>担い手への周知 → 市町村MTでの掘り起こし活動強化 (認定農業者、認定新規就農者など、集落営農組織、農業者団体)</p> <p>担い手の借受希望応募への誘導 → 担い手との意見交換 → 公表</p> <p>周知活動 (集落営農法人化に向けた話し合いの場への参加、既存集落営農法人への説明)</p> <p>会合等での周知活動 (4HC、生研G、指導農士など)</p>																																						
■出し手の掘り起こし		<p>遊休農地利用意向調査農地 → 市町村MTでの掘り起こし活動強化 → 農業委員会 利用意向通知 → 現地確認・リスト化 → 農地所有者との → マッチング、農地利用集積計画、農地利用配分計画申請 → 認可 → 放棄地再生作業 (農業人材活用事業) → 農地利用配分計画申請 → 認可</p> <p>地域への働きかけ → 市町村MTによる推進活動 (30市町村)、人・農地P地域 (141地区)、受け手ニーズ (165名)、地域説明会 (70件)</p> <p>県農林振興事務所担当係長が農地マネジメントチームリーダーとして、進捗管理・コーディネート</p> <p>人・農地プラン作成地域、見直し地域での事業説明 (機構職員)</p> <p>借受希望者との面談による借受希望農地地域への働きかけ</p> <p>中山間直接支払制度や多面的機能事業取組地域、各土地土地改良区等での事業説明</p>																																						
■機構の活動		<p>活動方針等 → 推進方針の決定 → 公表 → H28事業報告 公表</p> <p>事業評価委員会 → 第1回評価委員会 → 第2回評価委員会</p> <p>職員の能力向上 → 定期的な職員研修の実施</p> <p>効果的なマッチング → H28第1回公表分までのマッチング開始 → マッチング、農地利用集積計画、農地利用配分計画申請 → 認可 → 第2回公表分までのマッチング開始 → マッチング、農地利用集積計画、農地利用配分計画申請 → 認可 → 第3回公表分までのマッチング開始 → マッチング、農地利用集積計画、農地利用配分計画申請 → 認可</p> <p>農地ナビ (フェーズ2) の活用</p>																																						